

❀妊婦さんへ大切なお知らせ❀

RS ウイルスから赤ちゃんを守るために

— 妊婦向けワクチン接種開始のご案内 —

赤ちゃんが生まれて最初にかかる感染症のひとつが **RS ウイルス感染症**です。

生後 **2 歳**までに**ほぼすべてのお子さん**がかかるとされており、特に生後 **6 か月未満**の赤ちゃんは**重症化**しやすいことが知られています。

こうした背景から、妊婦さん自身がワクチンを接種することで、**生後まもない時期**のRS ウイルスによる**重症化を防ぐ**ことが期待されます。

2025 年 7 月から、当院で妊婦健診を行う妊婦さんを対象に、RS ウイルスワクチン（**アブリスボ®**：ファイザー株式会社）の接種を開始いたしました。

■接種について

- 対象：当院で妊婦健診を行う妊婦さん 妊娠 28 週～36 週までに接種（任意接種）
- 費用：自己負担 33,000 円（税込）
- 接種回数：1 回（筋肉注射）
- 接種場所：産婦人科外来
- 接種希望の場合には妊娠 32 週までにお申し出ください

■ワクチンの効果について

RS ウイルスワクチン（アブリスボ®）を妊婦さんが接種することで、胎盤を通じて中和抗体が赤ちゃんに届き、生後 6 か月までの RS ウイルスによる下気道感染（肺炎や細気管支炎など）を予防できるとされています。

■副反応について

- 接種後、まれに副反応（発熱、腫れ、アレルギー反応など）が見られることがあります。
- 副反応など、接種に関して不安な点がある場合には、当院産婦人科スタッフまでご相談ください。

赤ちゃんの健やかなスタートのために、RS ウイルスからの感染予防を一緒に考えていきましょう。

妊婦健診や分娩希望、またワクチン接種をご希望の方は、箕面市立病院産婦人科外来までご相談ください。

【問い合わせ】箕面市立病院 産婦人科外来 ☎072-728-2001（代表番号）

